

平島小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、身に付けた力を活用して適切に表現できる児童の育成
- 自律的に学び、自らの問いを追求する授業の実践

学力向上検討委員会構成

- 学力向上推進員
- 委員
 - 校長
 - 教務主任
 - 国語主任
 - 特別支援コーディネーター
 - 教頭
 - 研修主任
 - 算数主任

校長

濱田 真司

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職・教員相互による授業参観や、学年ごとに取組状況を定期的に報告する機会を設け、取組状況を把握する。

(1) 知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よき・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字・計算等の基礎的な学習に進んで取り組んでいる。自分の考えを伝えることができる児童が増えてきている。 ●文章の読み取りや要約、自分の考えを文章に書いたり相手に分かりやすく伝えたりすることが苦手な児童もいる。	・基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けることができる。 ・本や新聞を活用し、文章に慣れ親しむことができる。 ・根拠をもとに自分の考えを説明したり、学年に即した表現を用いて文章に書いたりすることができる。	・ICT機器を効果的に活用し、問題の解決に必要な情報を選択できるといった情報活用能力を身に付けることができるような学習の機会を設定する。 ・書いたり発表したりする活動では、相手や目的を意識して、必要な情報をまとめたり適切な表現を工夫したりする学習を設定する。			

(2) 思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よき・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えを伝えたり、グループで考えをまとめて発表したりして、意欲的に表現できる児童が増えた。 ●自分の考えを順序立てて説明したり、筋道を立てて文章に表現したりすることが苦手な児童もいる。	・相手の話をよく聞き、自分の考えとの相違点や類似点を考えることができる。 ・自分の考えを文にまとめたり図に表したりするなど様々な方法で表現することができる。	・話す・聞く活動を大切に、聞き取ったことと自分の考えとの相違点や類似点などをまとめるなど自分の考えを深める機会を増やす。 ・各教科や日常の活動の中で、書く機会を増やし、自分の考えを表現する活動を積極的に取り入れる。 ・ペアやグループで話し合う活動を通して、自らの考えを深める。			

(3) 主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よき・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○問題解決に向けて、粘り強く活動に取り組むことができる児童が増えた。 ●話を聞くことが十分でなく、集中して活動することが難しい児童もいる。	・学習の中で自らの問いをもち、その解決に向けて協働的に学び、自らの考えを深めることができる。 ・自らの学習を振り返り、次への目標をもつことができる。	・児童の問いや思考の流れを把握し、思考に沿った学習活動が展開されるよう、単元計画や環境づくりに努める。 ・振り返りの時間を確保し、自らの問いを解決する楽しさが味わえる機会を増やす。 ・問題解決に向けて学びを進められるように、タブレット等を適切に活用する。			

令和6年度 学力向上ロードマップ

